



ミライアル株式会社 2012年1月期 第2四半期決算説明資料

2011年9月9日



Miraial ミライアル株式会社



目次

2012年1月期 第2四半期累計期間決算概要.....	2
2012年1月期 第2四半期会計期間決算概要.....	10
2012年1月期業績予想	14
弊社を取り巻く業界環境	17
今期の施策	19



2012年1月期 第2四半期累計期間決算概要

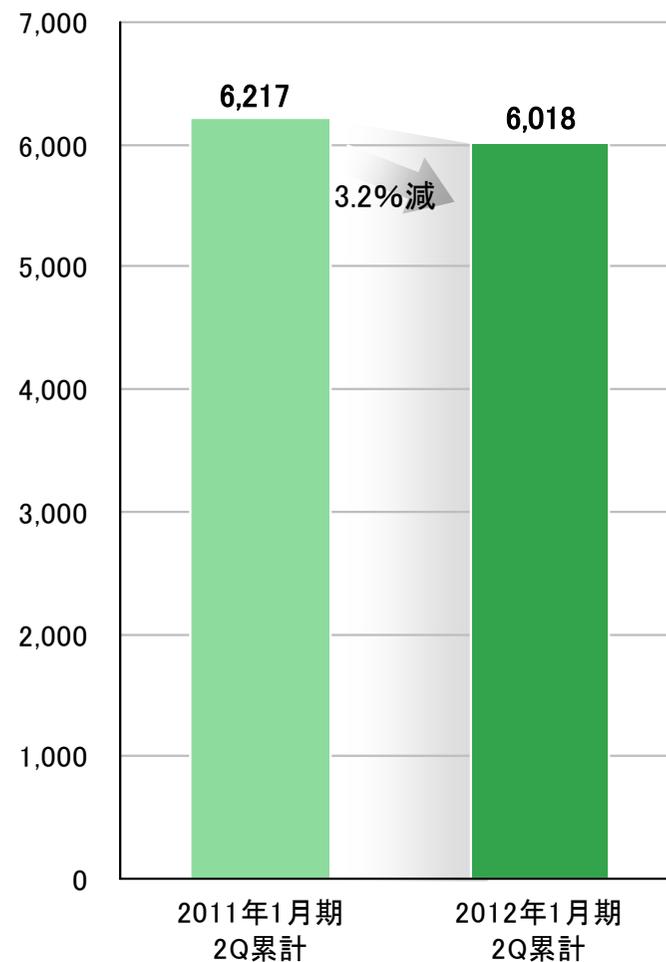


1. 売上高/経常利益の比較(連結)

- 売上高は、プラスチック成形事業にて、東日本大震災の影響はあったものの、積極的な拡販施策に努めましたが、微減となりました。その結果、前年同期比3.2%減となりました。
- 経常利益は、プラスチック成形事業における顧客のコスト削減要請や原材料の高騰等を主な要因として、前年同期比29.2%減となりました。

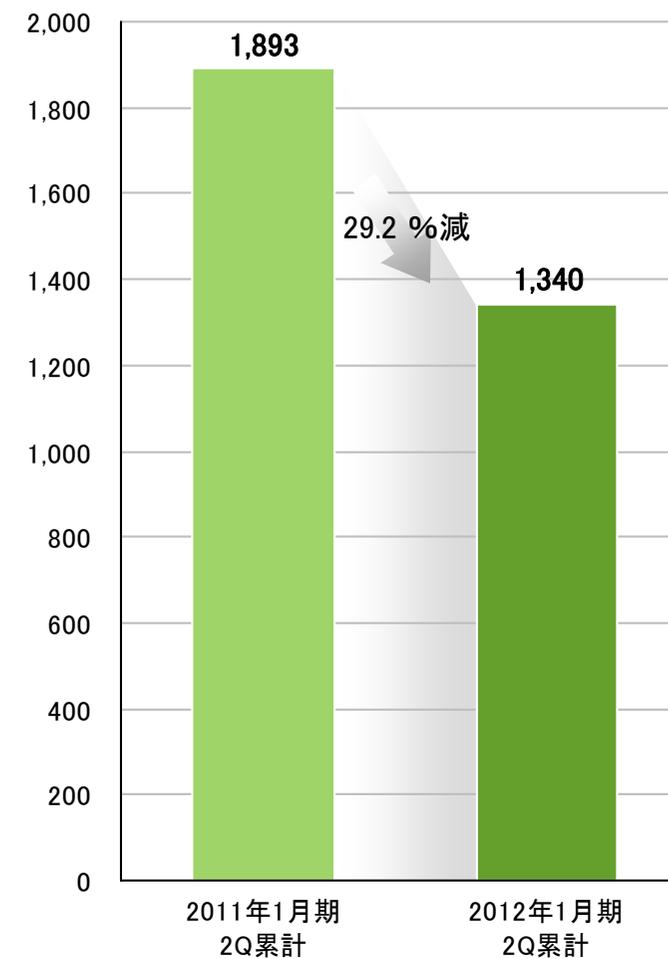
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)





2. 2012年1月期 第2四半期累計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2011年1月期 第2四半期累計		2012年1月期 第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	6,217	43.4	6,018	△3.2
売上総利益	2,687	134.5	2,169	△19.3
営業利益	1,696	539.7	1,180	△30.4
(営業利益率)	27.3		19.6	
経常利益	1,893	349.7	1,340	△29.2
税引前当期純利益	2,251	461.0	1,284	△43.0
当期純利益	1,431	499.7	646	△54.9
設備投資	39		20	
減価償却	294		226	
純資産	15,304		15,906	
総資産	20,405		20,162	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2011年1月期 第2四半期累計		2012年1月期 第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	5,365	43.8	5,064	△5.6
売上総利益	2,447	126.3	1,901	△22.3
営業利益	1,745	279.1	1,180	△32.4
(営業利益率)	32.5		23.3	
経常利益	1,850	248.3	1,276	△31.0
税引前当期純利益	2,049	279.4	1,237	△39.6
当期純利益	1,227	348.0	705	△42.5
設備投資	15		11	
減価償却	275		208	
純資産	14,851		15,690	
総資産	18,649		18,775	

3. 事業別売上高の比較

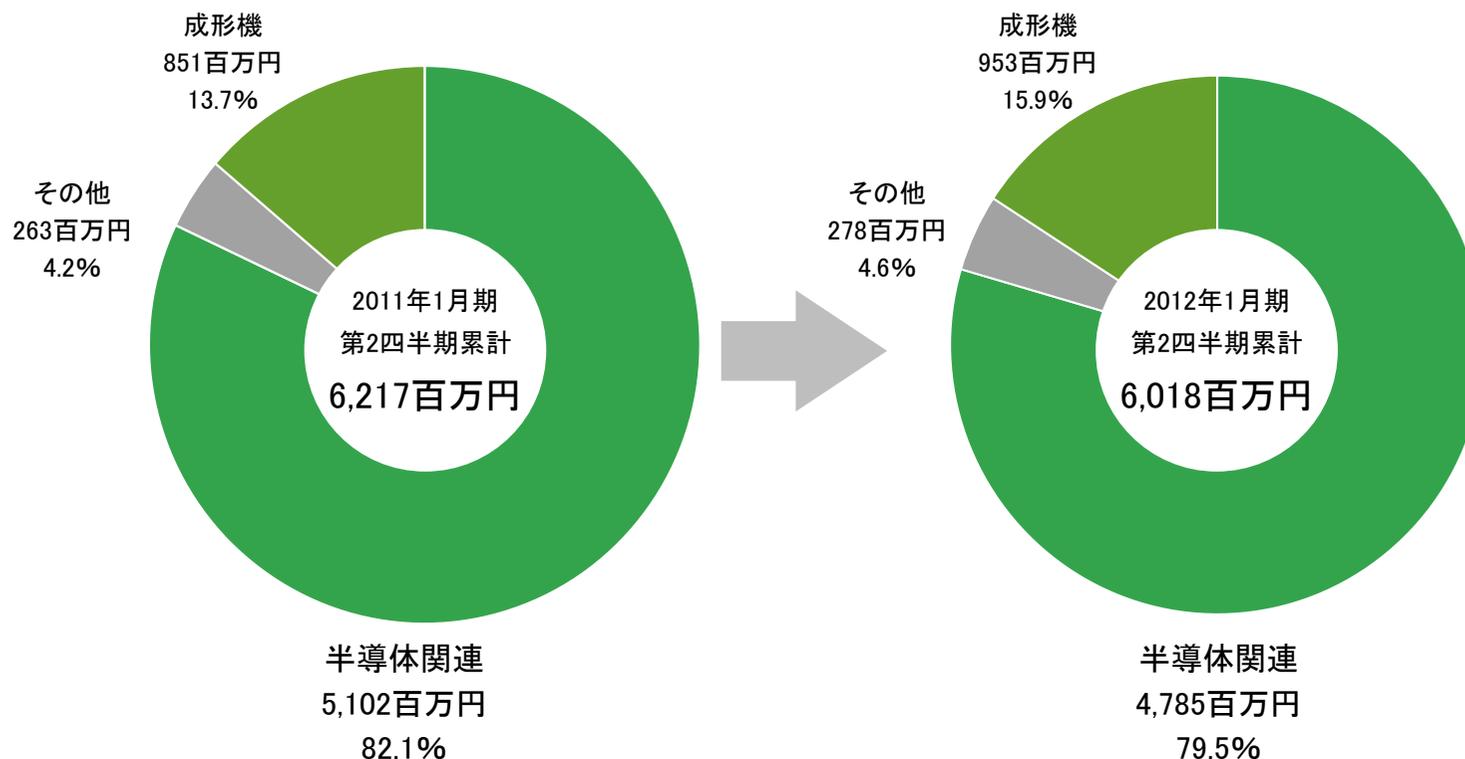
事業別売上高(連結)

■ プラスチック成形事業

- 半導体関連事業は、6.2%減の47億85百万円。
- その他事業は、5.7%増の2億78百万円。

■ 成形機事業

- 成形機事業は、12.0%増の9億53百万円。

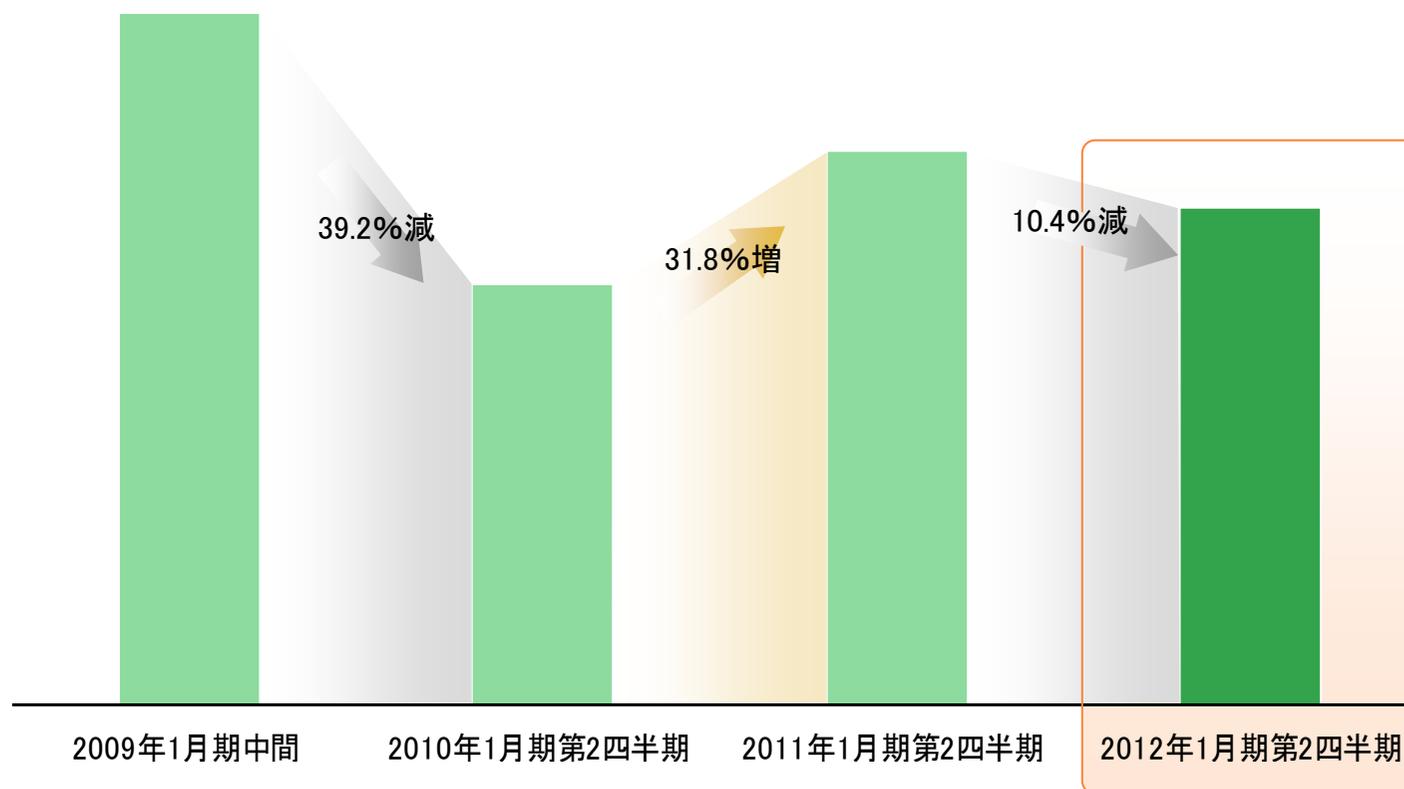




4. 半導体関連製品事業の業績

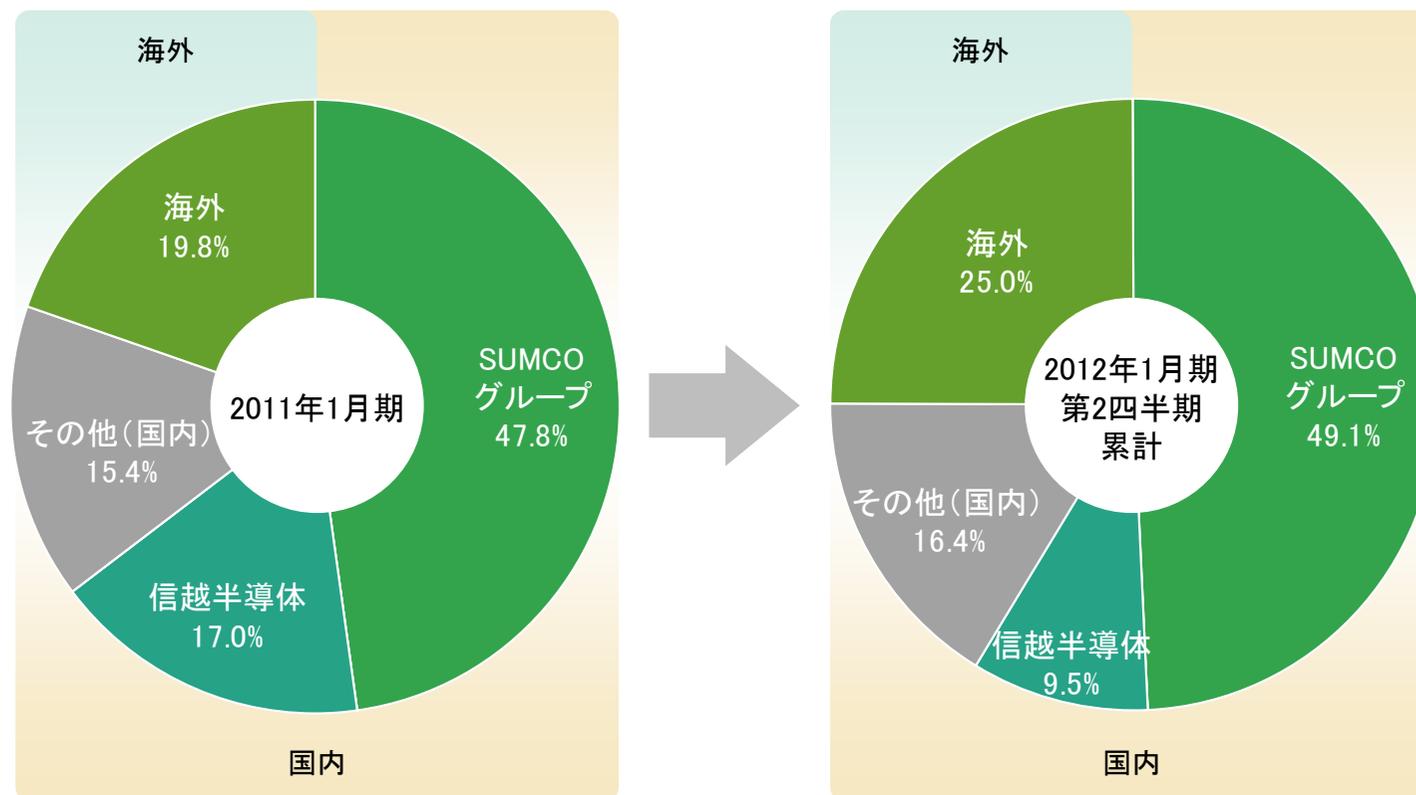
- 出荷容器は前年同期比10.4%減、工程容器は、前年同期比35.0%増となっております。

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移



5. FOSB出荷実績得意先別シェア

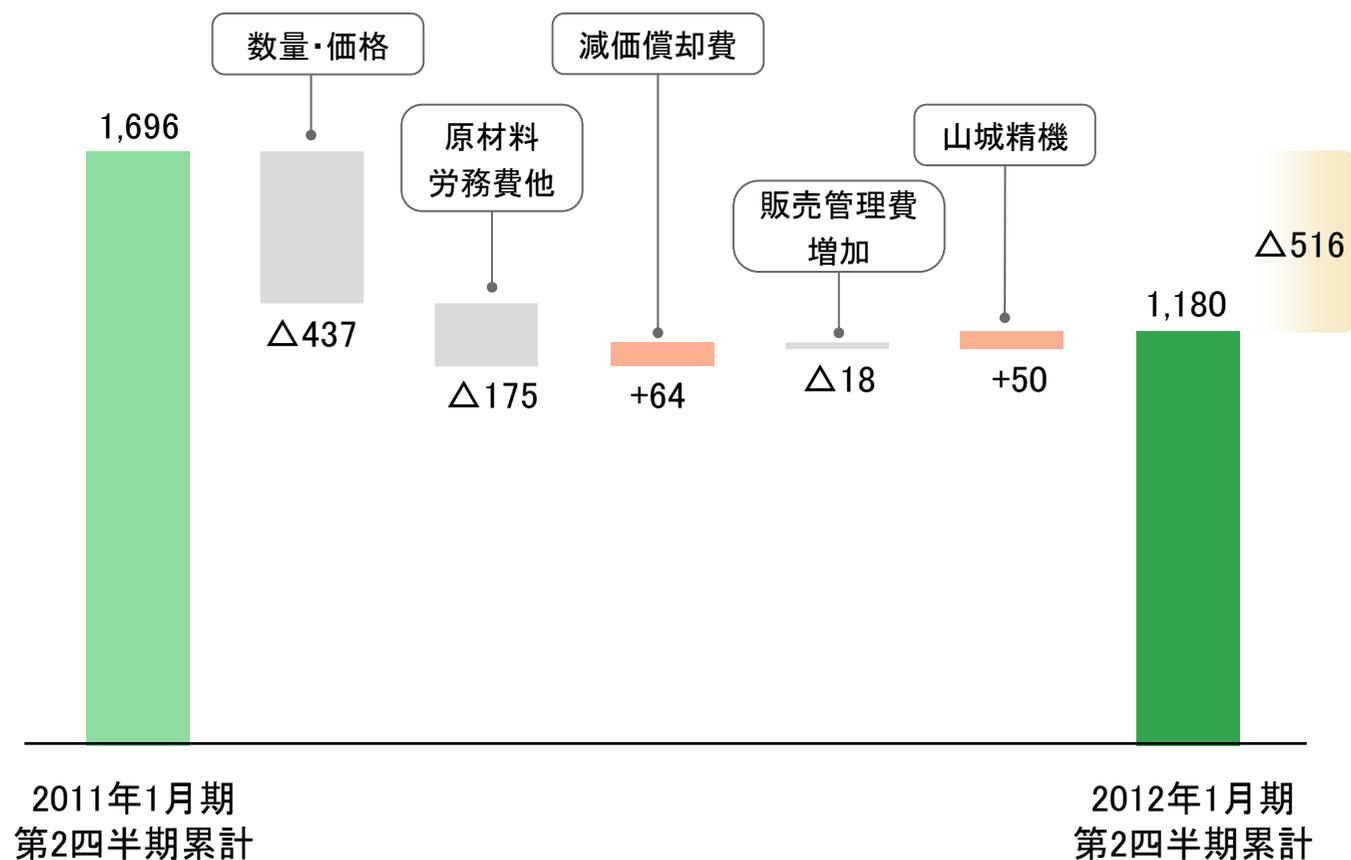
弊社FOSB出荷実績得意先別シェアの動向



6. 営業利益増減要因分析(連結)

対前年同期比

(単位:百万円)





(ご参考) キャッシュフロー(連結)

キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2011年1月期 第2四半期累計	2012年1月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュフロー	1,522	922	△599
投資活動によるキャッシュフロー	△744	△2,371	△1,627
財務活動によるキャッシュフロー	△487	△716	△228
有利子負債減少	△183	△412	△228
配当金支払	△303	△303	0
現金及び現金同等物期末残高	6,695	5,270	△1,425

- 投資活動によるキャッシュフロー△2,371百万円は、主に3ヶ月超1年未満の定期預金に振り替えたことによる減であります。



2012年1月期 第2四半期会計期間決算概要

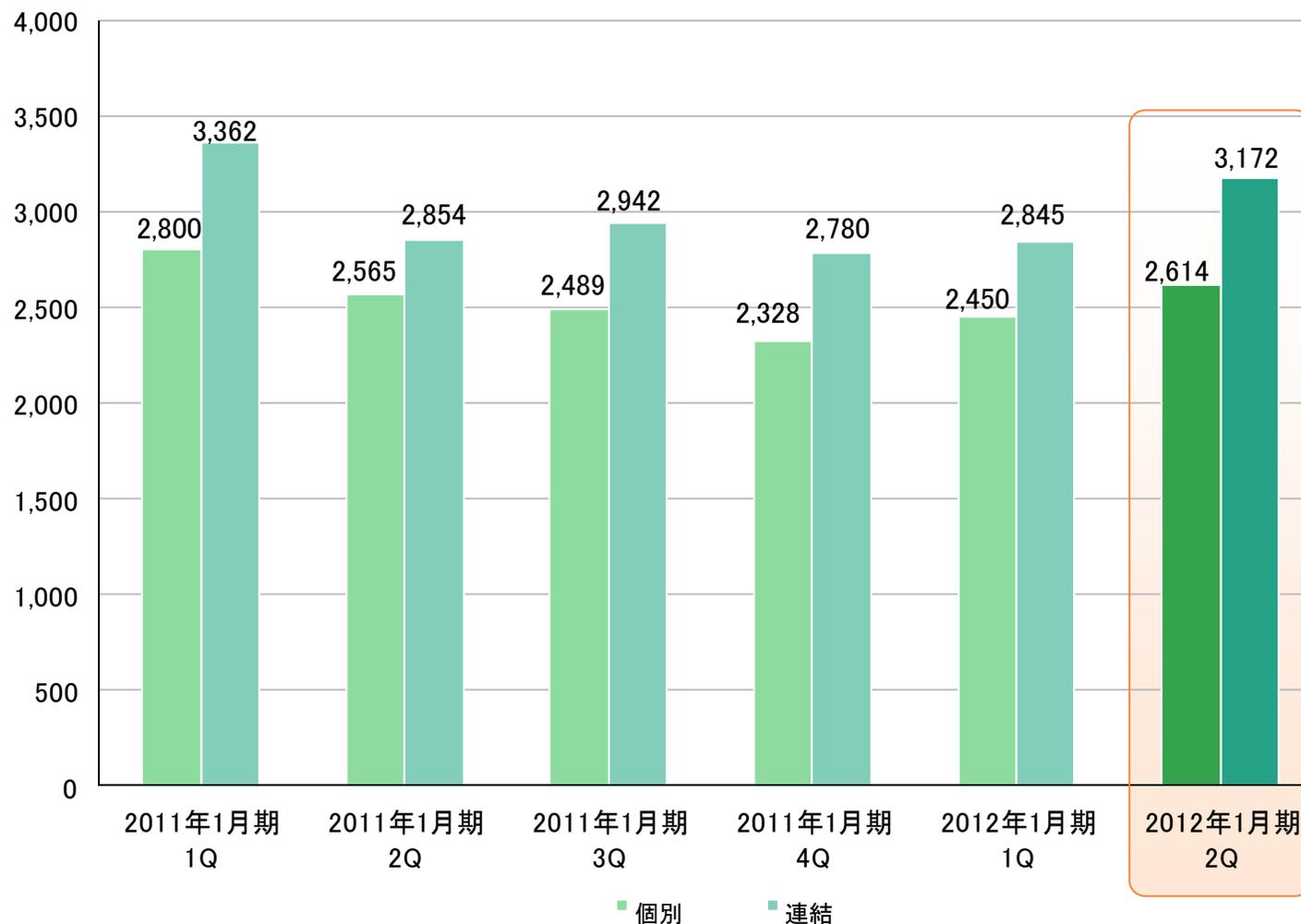


1. 業績ハイライト

- 連結売上高は、1Qから11.5%増の31億72百万円でした。
- 個別売上高は、1Qから6.7%増の26億14百万円でした。
- ミライアル単体は、主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」が、東日本大震災による影響はあったものの堅調に推移しましたが、利益面では顧客のコスト削減要請や原材料の高騰等の要因もあり、厳しい状態となりました。
- 連結子会社である㈱山城精機製作所は、東日本大震災の影響により、企業の設備投資が鈍化している影響を受けております。このような中、前期からの収益改善策と積極的な営業施策を実施しましたが、売上高、営業利益ともに低調となりました。

売上高推移(四半期毎)

(単位:百万円)

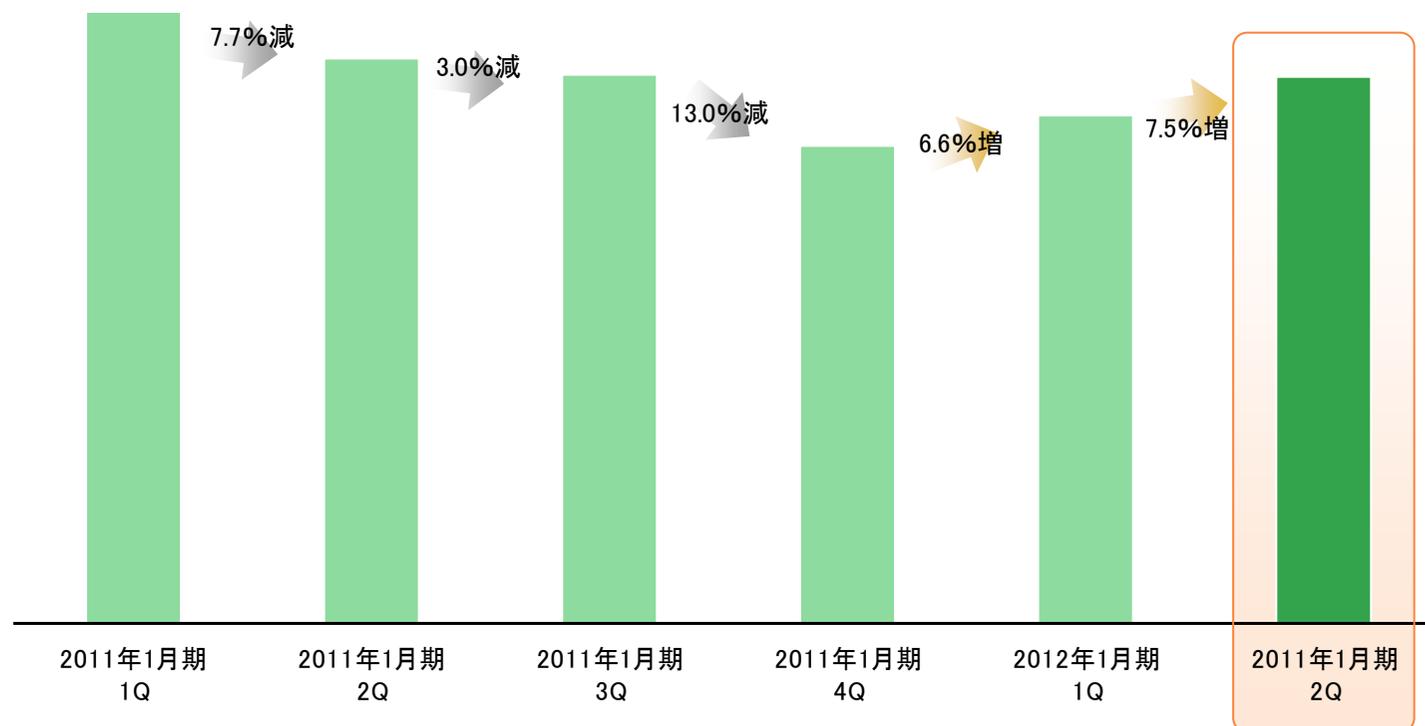




2. 半導体関連事業の業績

- 出荷容器は、1Qから7.5%増となっております。
- 工程容器は、デバイスメーカーの300mmに対する設備増強投資は一段落しましたが、小口径容器は堅調に推移しました。

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移(四半期毎)





3. 2012年1月期 第2四半期会計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2012年1月期 第1四半期		2012年1月期 第2四半期	
	金額	前四半期 増減率	金額	前四半期 増減率
売上高	2,845	2.4	3,172	11.5
売上総利益	1,015	2.9	1,154	13.7
営業利益	516	3.1	664	28.7
(営業利益率)	18.1		21.0	
経常利益	542	△0.5	798	47.1
税引前当期純利益	502	11.4	781	55.7
当期純利益	199	△27.7	446	123.9
設備投資	6		14	
減価償却	111		114	
純資産	15,462		15,906	
総資産	19,479		20,162	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2012年1月期 第1四半期		2012年1月期 第2四半期	
	金額	前四半期 増減率	金額	前四半期 増減率
売上高	2,450	5.2	2,614	6.7
売上総利益	884	2.0	1,016	14.9
営業利益	518	0.5	661	27.5
(営業利益率)	21.1		25.3	
経常利益	514	△3.5	761	47.8
税引前当期純利益	495	10.8	742	50.0
当期純利益	292	9.4	412	40.9
設備投資	5		6	
減価償却	102		105	
純資産	15,281		15,690	
総資産	18,103		18,775	



2012年1月期業績予想



1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には拡大を続けていく見通しです。
- 足元は堅調に推移しているものの、海外における景気の減速等に起因する半導体業界に先行き不透明感が広がっており、秋口から減速すると予想しております。
- FOSBのリユースについては、足下で全体の容器量の内、30%前後で推移していると予想しています。今後も急激な増加はないと見込んでいます。
- 子会社の山城精機は、成形機市場が昨年度から回復傾向にあったものの、震災後は企業の設備投資計画も中止・延期となり、踊り場となりました。これに伴い子会社の山城精機の受注も大きく低迷しましたが、市場が徐々に回復しており、年度後半は前半の遅れを取り返す需要増を見込んでいます。

営業利益、経常利益(当初予想の前提)

- 品質での競争力を高め、シェア拡大を目指します。
- グループでのコラボレーションを強化し、更なるコストダウンを実施します。
- 設備投資は、合理化及び品質維持に要する設備投資に限定しています。
- 450mm関連投資は、必要に応じ実施します。



2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2011年1月期		2012年1月期(予)				
	金額	前期増減率	2012年1月期 第2四半期累計			金額	前期増減率
			金額	前期増減率	金額		
売上高	11,939	22.6	6,018	△3.2	11,940	0.0	
営業利益	2,911	76.0	1,180	△30.4	2,440	△16.2	
経常利益	3,179	63.7	1,340	△29.2	2,640	△17.0	
(当期)純利益	2,191	129.8	646	△54.9	1,440	△34.3	

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2011年1月期			2012年1月期(予)					
	金額	構成比	前期増減率	2012年1月期 第2四半期累計			金額	構成比	前期増減率
				金額	構成比	前期増減率			
プラスチック成形事業	10,184	85.3	19.4	5,064	84.1	△5.6	10,040	84.1	△1.4
半導体関連	9,697	81.2	17.9	4,785	79.5	△6.2	9,510	79.7	△1.9
その他	486	4.1	58.1	278	4.6	5.8	530	4.4	8.9
成形機事業	1,755	14.7	45.6	953	15.9	12.0	1,900	15.9	8.2
合計	11,939	100.0	22.6	6,018	100.0	△3.2	11,940	100.0	0.0



(ご参考) 弊社を取り巻く業界環境

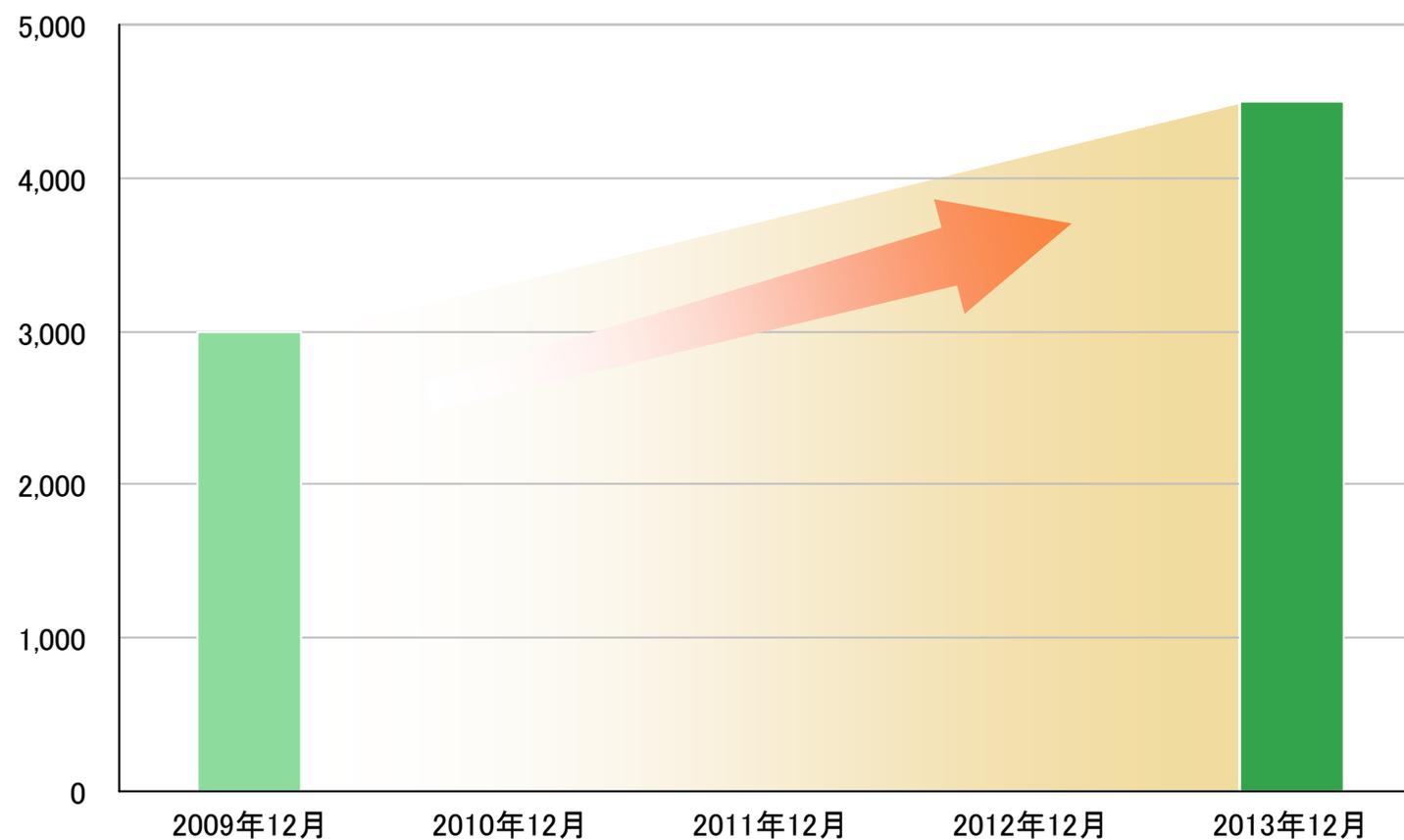


シリコンウエハ市場の動向

- 一時的な減退時期にはあるものの、半導体用途の拡大に伴い、シリコンウエハの需要は、300mmを中心に伸びていくと予想される

300mmウエハの需要予想

(千枚/月)



出所: 弊社推測



(ご参考) 今期の施策



今期の方針

半導体関連事業

- ① 現存事業の安定化・売上拡大
- ② 新製品・新事業へのチャレンジ強化

成形機事業

山城精機の重点施策



製品戦略

現存事業の安定化

製品戦略

- 更なるコストダウンと品質向上への取り組み
- FOSBシェアの維持
- 450mmシリコンウエハ容器開発の推進

合理化戦略

- 容器事業以外製品の収益改善(低利益率製品の改善)
- FOSBリユースの対応準備



販売強化策

現存事業の売上拡大に向けた営業戦略

1

シリコンウエハメーカーへの積極的なアプローチ

品質維持・向上とコスト削減による競争力の強化

2

デバイスメーカーへの営業フォロー強化

半導体業界へのマーケット拡販

3

製・販・技一体となった高利益率製品の販売拡大



新製品・新事業戦略

新製品・新事業へのチャレンジ強化

新製品開発への積極投資

- 新規事業創出体制強化のため、事業開発室の新設

精密成形技術等への展開

- 山城精機製作所とのシナジー効果創出

半導体業界への拡販

- 後工程への展開、当社の派生技術での事業展開

多角化のための 新分野展開



山城精機の重点施策

「縦型機のNo.1メーカー」への 取り組み

- シェアアップ
 - 汎用成形機、LIM成形機、圧縮・トランスフアー成形機
- No.1商品の創出
 - 新成形システムの開発企画推進

高効率生産体制の構築

- 少数精鋭での増産体制を構築
- 価格競争力を高め利益を極大化



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

電話:03-3986-3782 FAX:03-3986-3853 E-Mail:investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。